

# 尊厳死と 安楽死のあいだ

重い神経難病を患った日本人女性が、スイスに渡って安楽死を遂げたことをテレビの特集番組が報じて以来、安楽死を望む人が増えています。さまざまな調査では、日本人の7~8割が「安楽死に賛成」と回答しています。しかし、日本では法律で認められておらず、医師が患者に薬物を投与して死に至らせると、自殺ほう助で犯罪になります。それどころか、尊厳死ですらグレーゾーンです。そもそも尊厳死とは何か。安楽死とどう違うのか。講座では、尊厳死と安楽死の違い、その“あいだ”にたくさんの問題が存在すること、そしてどこまで許容されるべきかなど、多くの疑問についてわかりやすく解説します。質疑応答では、皆さんからのご質問にもできる限りお答えしたいと思います。



1月16日 木曜日 13:30~15:30

講師 長尾クリニック院長 長尾 和宏

会場 芦屋仏教会館(阪急芦屋川駅から南へ徒歩約7分、JR 芦屋駅から西へ徒歩約9分)

受講料 朝日カルチャーセンター会員 3,300円

一般 3,850円

(入会金は別途 5,500円。  
70歳以上は入会無料)

お申し込み・お問い合わせは

※日曜・祝日・第3木曜  
(一部の日を除く)、12/  
29(日)~1/3(金)は休み。

お電話の場合 受付時間 10:00~18:00

0797-38-2666

窓口の場合 芦屋市船戸町 4-1-408 3F 本館4階  
(JR 芦屋駅すぐ北側)



朝日カルチャーセンター 芦屋  
朝日JTB・交流文化塾

※ホームページからのお申し込みは「朝日カルチャー 芦屋」で検索!



長尾和宏

小説  
安楽死特区

☞長尾和宏先生の初となる本格医療小説『小説 安楽死特区』(ブックマン社)が、11月に新刊として発売予定です。講座当日は、書籍販売も終了後に予定しています。

2024年、  
日本で  
「安楽死法案」  
可決!?

東京オリンピックが終わり、  
優勝してゆく我が国、  
死を願う男と女が、  
国家の因に閉ちてゆく……  
ベストナレーターによる、  
初の本格医療小説!